

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

魅力ある地域資源を活かした観光拠点整備事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

七尾市

3 地域再生計画の区域

七尾市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

七尾市、中能登町では全国の地方都市と同様な人口減少が大きな課題となっており、2010年から2040年までの30年間で約27,000人減少し、50,000人を割り込むと見込まれている。その対策として、両市町では「交流人口の拡大」を掲げ、2020年に観光入込客数約460万人を目標とし、首都圏からの旅行者や外国人旅行者の誘客促進、スポーツ大会及びスポーツ合宿等の誘致に取り組んでいる。しかし、官民による連携不足や観光地域づくりの核となる組織が成熟していないことから、魅力ある地域資源を活かした観光施策を十分に展開できていない。

4-2 地方創生として目指す将来像

【概要】

七尾市総合戦略の目標である「七尾市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」「七尾市への新しい人の流れをつくる」及び中能登町の総合戦略の目標である「地域の産業を活性化し、老若男女を問わずすべての町民がいきいきと暮らし活躍できるまち」の実現に向けて、平成29年11月に七尾市、中能登町の観光協会、商工会議所、商工会、行政からなる地域連携DMO「(一社)ななお・なかのとDMO」を設立し、両市町の観光地域づくりを進めている。北陸新幹線金沢開業による首都圏からの旅行者や年々増加している外国人観光客をさらに呼び

込み、「(一社) ななお・なかのとDMO」を中心に地域資源を活かした観光振興やさらなる交流人口の拡大を図る。さらに観光関連以外の幅広い産業分野と連携することで地域の「稼ぐ力」を引出し、地域の雇用創出につなげることで、持続可能なまちの実現を目指す。

【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2019年度増加分 1年目	2020年度増加分 2年目
和倉温泉お祭り会館(仮称)入場者数(人)	0	0	100,000
和倉温泉における消費額(百万円)	17,277	0	300
外国人旅行者数(人)	24,506	0	1,000

2021年度増加分 3年目	2022年度増加分 4年目	2023年度増加分 5年目	KPI増加分 の累計
20,000	30,000	0	150,000
450	650	823	2,223
1,200	1,500	1,794	5,494

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生拠点整備交付金(内閣府) : 【A3007(拠点整備)】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

和倉温泉お祭り会館(仮称)整備事業

③ 事業の内容

能登地方の観光において、祭り文化は欠かすことができないものであり、「青柏祭の曳山行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことにより、七尾が誇る4大祭りを活用し、新たな人の流れを創出できるような施設が必要となっている。そこで、年間約100万人以上が訪れる和倉温泉の中心に位置する和倉温泉観光会館を和倉温泉お祭り会館（仮称）に改修することで、七尾全域に広がる多様な祭りを感じてもらい、七尾ファンを増やし、祭りを通じた交流の核となる場と捉え整備を行う。和倉温泉お祭り会館（仮称）を（一社）ななお・なかのとDMOに指定管理させることで、この施設を中心とした七尾市と中能登町、さらには能登周遊の観光ルートを構築し、さらなる交流人口の拡大を図り、観光関連のみならず、幅広い産業分野にその効果を波及させることにより、地域の「稼ぐ力」を引き出すことができる。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

平成29年11月に七尾市、中能登町の観光協会、商工会議所、商工会、行政が参画し、設立した（一社）ななお・なかのとDMOを中心に、歴史遺産、食と伝統、観光施設、宿泊施設などを結ぶ観光ルートの構築や旅行商品化を進めるとともに、スポーツや修学旅行などの体験型・滞在型観光地としてのブランド化に取り組む。また、七尾市は本交付金を活用して（一社）ななお・なかのとDMOの拠点施設となる、和倉温泉お祭り会館（仮称）を整備する。

【政策間連携】

（一社）ななお・なかのとDMOを中心に、多様な関係者の合意形成のもと、効果的なマーケティング、観光地の一体的なブランドづくりなどの観光振興を戦略的に行い、周遊バスルートなどの二次交通や価値ある自然・歴史・食素材の提供など、まちづくり・地域活性化と連携して、観光資源の磨き上げを行う。また、七尾市内事業者や七尾市への移住者に対して幅広いサポートを行う七尾街づくりセンターと連携することで、観光分野における創業・就業支援や移住定住の促進を図り、さらなる交流人口の拡

大や地域経済の活性化につなげる。

【地域間連携】

(一社) ななお・なかのとDMOが、観光協会、商工会議所、商工会、旅行事業者などと連携し、一体的に事業を進めるとともに、石川県、能登半島広域観光協会とも連携を図りながら観光地域づくりを進める。また、和倉温泉お祭り会館（仮称）を拠点とし、七尾市・中能登町の観光情報を発信するとともに、キリコ会館のある輪島市とも連携しながら、能登の観光地のブランド化を推し進める。

【自立性】

圏域の観光の舵取り役となる「DMO組織」については、地方公共団体の補助金や会費収入などにより財源確保を図る。さらに、将来的にDMOが成熟していく中で、和倉温泉お祭り会館（仮称）を指定管理し、入館料、その他の手数料などにより自己財源を確保することで、自立に向けた財政基盤の強化を図る。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

七尾版総合戦略等推進委員会で効果等を検証し、七尾市ホームページ及び七尾市の広報等で公表する。

【外部組織の参画者】

七尾版総合戦略等推進委員会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果は毎年度、ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】
総事業費 333,482千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2024年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 交流人口拡大による移住定住の促進

ア 事業概要

都市部からの若者をターゲットにスポーツ合宿や大会誘致などを行うことで、本市を知ってもらおう。さらに（一社）ななお・なかのとDMOや七尾街づくりセンター（株）などと連携し、若者がいてみたいと思える観光地づくりや移住体験会の開催などに取り組むことで観光分野における移住・定住の促進を図る。

イ 事業実施主体

七尾市

ウ 事業実施期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2024年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。